

II. SIDS 未然型乳児のポリグラフ的検討

国立療養所香川小児病院

古川 正 強

福田 邦 明

睡眠中にチアノーゼを示した乳児2例、SIDS 同胞1例に終夜にわたり、脳波、眼球運動記録、筋電図、心電図、呼吸波記録を行ない、睡眠の深さの諸相と脈拍、呼吸数、無呼吸の形および数の関係を観察した。

第1例：3週、女児。総記録時間510分。覚醒期27.6%、安静睡眠期24.7%、移行睡眠期30.2%、逆説睡眠期17.4%で、覚醒期に心拍低下を認めた。無呼吸は3～9秒のものが安静睡眠期6.3%、移行睡眠期15.6%、逆説睡眠期29.3%、10～15秒のものは移行睡眠期に1.3%認められた(図1)。

第2例：3ヶ月、男児。総記録時間382分。第I期9.9%、第II期20.1%、第III期18.3%、第IV期8.1%、REM期41.5%であり、各睡眠期に対する心拍、呼吸変化は正常パターンであったが、体動、徐脈を伴う無呼吸が頻発した。すなわち3～9秒の無呼吸は第I期7.9%、第II期7.8%、第III期15.7%、第IV期3.2%、REM期27.7%、10～15秒の無呼吸は第I期15.8%、第II期2.6%、第III期10%、第IV期12.9%、REM期8.2%の割合で認められた(図2)。

第3例：3ヶ月、男児。総記録時間260分。覚醒期47.7%、第I期1.5%、第II期26.2%、第III期11.9%、第IV期0.4%、REM期12.7%で、心拍、呼吸変化は正常パターンであった。3～9秒の無呼吸がREM期に15.2%、10～15秒のものは第III期3.1%、REM3%の割合でみられた(図3)。

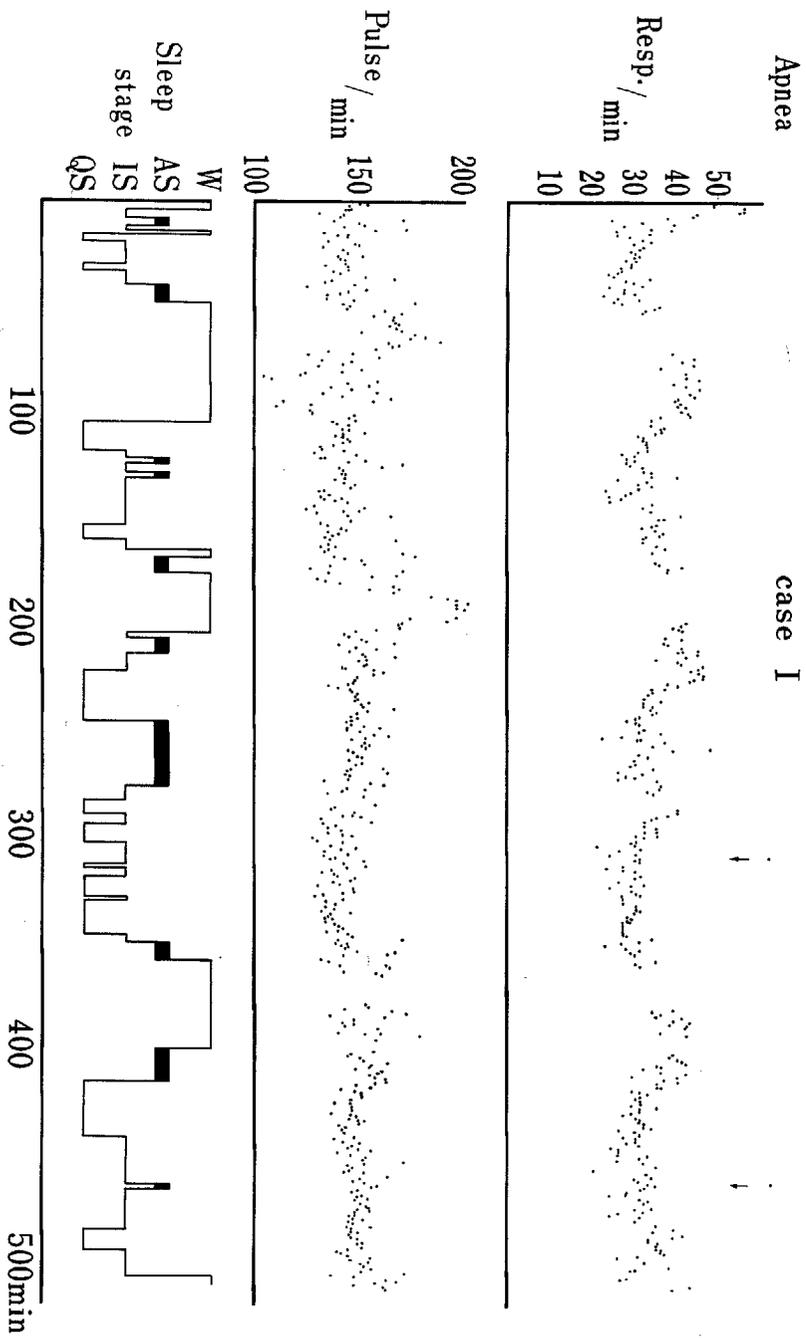


図1 症例1。3週、女兒。睡眠時チアノーゼ。

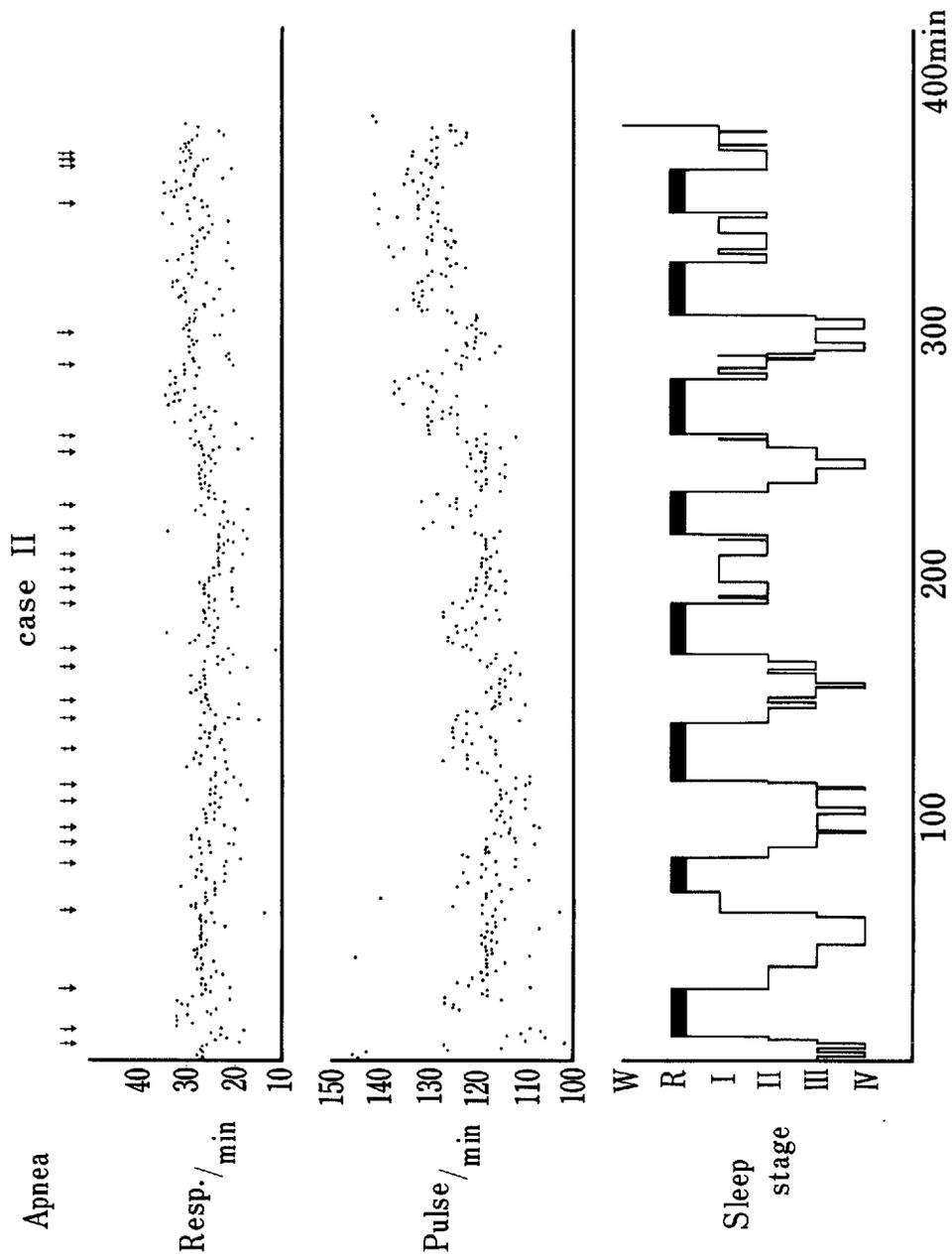


図2 症例2。3ヶ月、男児。SIDS同胞。

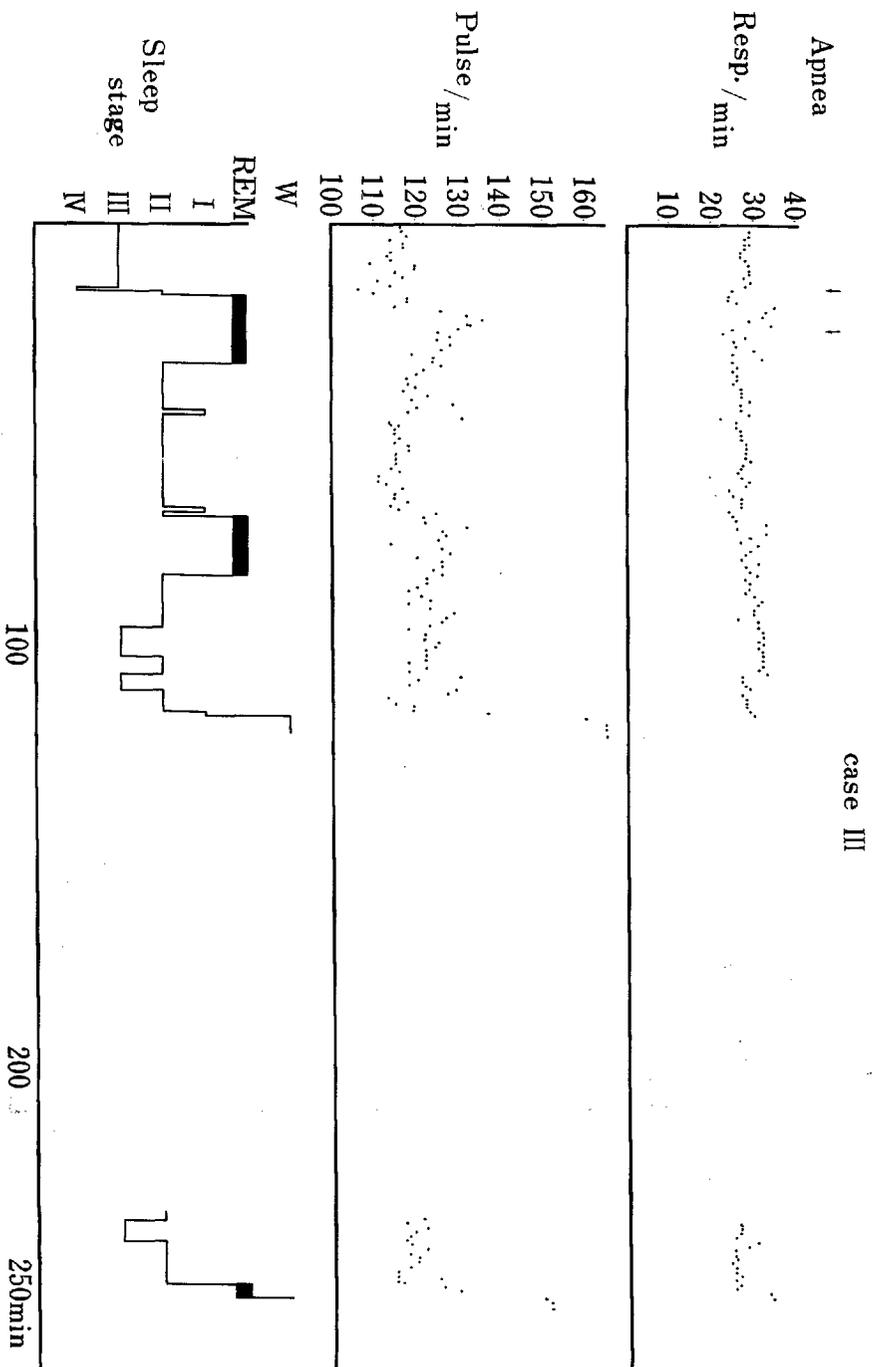


図3 症例3。3ヶ月、男児。睡眠時チアノーゼ。

表2 3症例の睡眠段階の割合

case	W	Q S	I S	A S	total Record		
case I	27.6%	24.7%	30.2%	17.4%	510 min		
	W	I	II	III	IV	R	
case II	0	9.9%	20.1%	18.3%	8.1%	41.5%	382 min
case III	47.7%	1.5%	26.2%	11.9%	0.4%	12.7%	260 min

表3 3症例の無呼吸出現状況

		Q S	I S	A S		
case I	3~9 sec.	8 (6.3%)	24 (15.6%)	26 (29.3%)		
	10 sec.~	—	2 (1.3%)	—		
		I	II	III	IV	REM
case II	3~9 sec.	3(7.9%)	6(7.8%)	11(15.7%)	1(3.2%)	44(27.7%)
	10 sec.~	6(15.8%)	2(2.6%)	7(10.0%)	4(12.9%)	13(8.2%)
case III	3~9 sec.	—	—	—	—	5(15.2%)
	10 sec.~	—	—	1(3.1%)	—	1(3.0%)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



睡眠中にチアノーゼを示した乳児2例、SIDS 同胞1例に終夜にわたり、脳波、眼球運動記録、筋電図、心電図、呼吸波記録を行ない、睡眠の深さの諸相と脈拍、呼吸数、無呼吸の形および数の関係を観察した。